



遠 2378 38

みのおこり

あまのあか

前編



あめあつせねのり

山東庵 京山作

めんせぬ

五渡亭 國貞画

○近江國叔金傳

古今著聞集卷之十相撲強力の部曰近頃あつた金海津と  
いふ遊女ありけり中男おねかりける程不其頃東國の武士おね一番を上席とて  
此の日に月なく宿しけり馬も湖もひさしくひやくも中津川の梅はし  
ころ馬のまじげるが抱れおろきを走らすまじひける人あや取附て引きあ  
けさとも物ともせぬ引きまがりてさくさくは此遊女おねおねおねおねおねおね  
らさくさくひもさうてたさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
さくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく  
それら此金おね之方の國えおりて人おあわりけるさくさくさくさくさくさく  
いころ男といきもみ六人して八を志すごとくとを自称しけるあつた  
さくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく

つら





① 村の...  
 ② 村の...  
 ③ 村の...  
 ④ 村の...  
 ⑤ 村の...  
 ⑥ 村の...  
 ⑦ 村の...  
 ⑧ 村の...  
 ⑨ 村の...  
 ⑩ 村の...

⑪ 村の...  
 ⑫ 村の...  
 ⑬ 村の...  
 ⑭ 村の...  
 ⑮ 村の...  
 ⑯ 村の...  
 ⑰ 村の...  
 ⑱ 村の...  
 ⑲ 村の...  
 ⑳ 村の...

㉑ 村の...  
 ㉒ 村の...  
 ㉓ 村の...  
 ㉔ 村の...  
 ㉕ 村の...  
 ㉖ 村の...  
 ㉗ 村の...  
 ㉘ 村の...  
 ㉙ 村の...  
 ㉚ 村の...



㉛ 村の...  
 ㉜ 村の...  
 ㉝ 村の...  
 ㉞ 村の...  
 ㉟ 村の...  
 ㊱ 村の...  
 ㊲ 村の...  
 ㊳ 村の...  
 ㊴ 村の...  
 ㊵ 村の...

㊶ 村の...  
 ㊷ 村の...  
 ㊸ 村の...  
 ㊹ 村の...  
 ㊺ 村の...  
 ㊻ 村の...  
 ㊼ 村の...  
 ㊽ 村の...  
 ㊾ 村の...  
 ㊿ 村の...

㊿ 村の...  
 ㊱ 村の...  
 ㊲ 村の...  
 ㊳ 村の...  
 ㊴ 村の...  
 ㊵ 村の...  
 ㊶ 村の...  
 ㊷ 村の...  
 ㊸ 村の...  
 ㊹ 村の...  
 ㊺ 村の...



ありあけの空を飛ぶ鳥の如く  
 わが心は自由の風を吹かす  
 雲の間に身をまかせ  
 大地の隅々まで  
 愛の種をまき  
 秋の収穫を待つ  
 心の旅路は  
 無限の広がり  
 ありあけの空を  
 飛ぶ鳥の如く  
 わが心は自由の風を吹かす



ありあけの空を飛ぶ鳥の如く  
 わが心は自由の風を吹かす  
 雲の間に身をまかせ  
 大地の隅々まで  
 愛の種をまき  
 秋の収穫を待つ  
 心の旅路は  
 無限の広がり  
 ありあけの空を  
 飛ぶ鳥の如く  
 わが心は自由の風を吹かす



ありあけの空を飛ぶ鳥の如く  
 わが心は自由の風を吹かす  
 雲の間に身をまかせ  
 大地の隅々まで  
 愛の種をまき  
 秋の収穫を待つ  
 心の旅路は  
 無限の広がり  
 ありあけの空を  
 飛ぶ鳥の如く  
 わが心は自由の風を吹かす

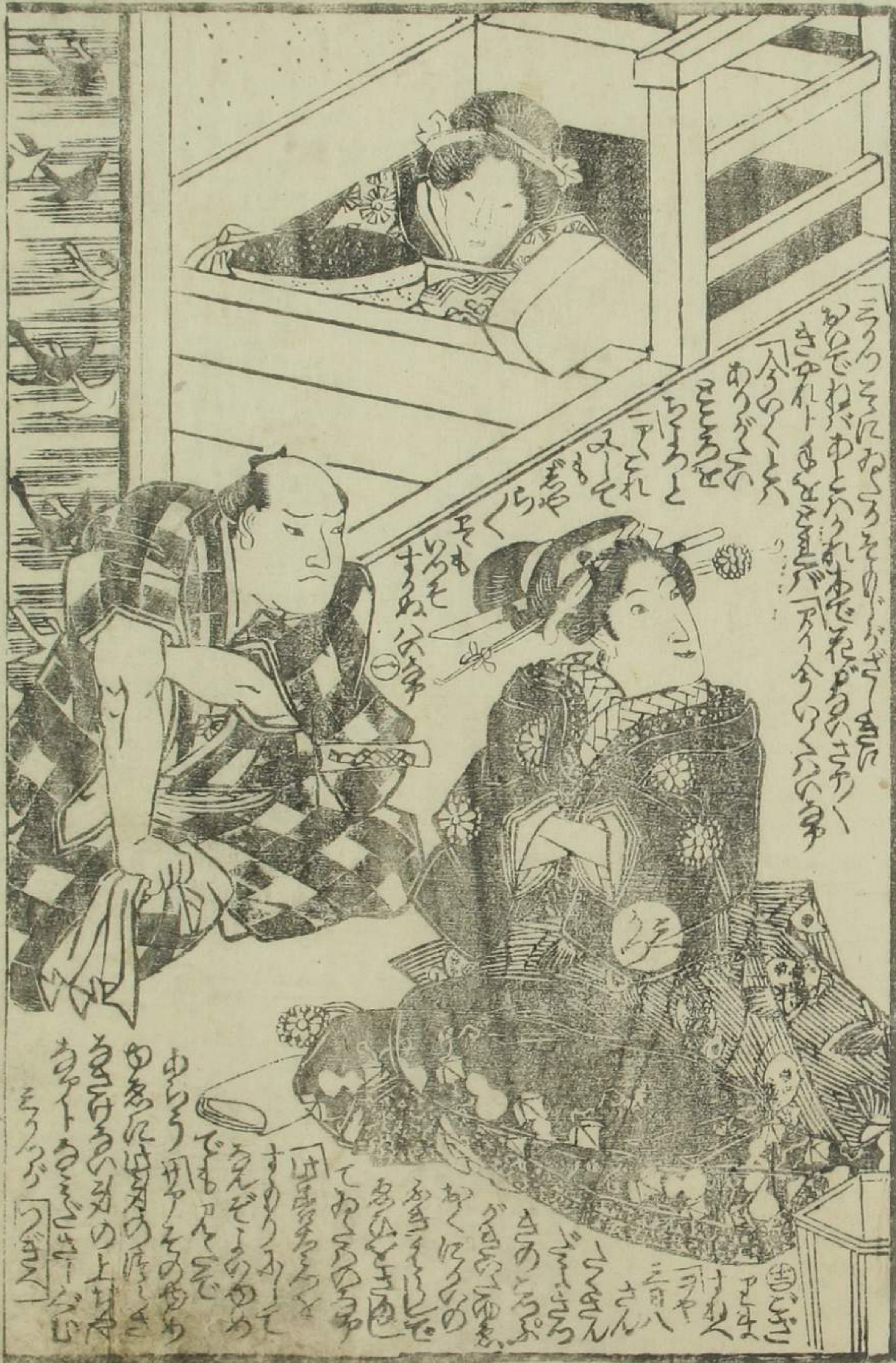


① 夫のいふやうに...  
 ② 夫のいふやうに...  
 ③ 夫のいふやうに...  
 ④ 夫のいふやうに...  
 ⑤ 夫のいふやうに...  
 ⑥ 夫のいふやうに...  
 ⑦ 夫のいふやうに...  
 ⑧ 夫のいふやうに...  
 ⑨ 夫のいふやうに...  
 ⑩ 夫のいふやうに...

① 夫のいふやうに...  
 ② 夫のいふやうに...  
 ③ 夫のいふやうに...  
 ④ 夫のいふやうに...  
 ⑤ 夫のいふやうに...  
 ⑥ 夫のいふやうに...  
 ⑦ 夫のいふやうに...  
 ⑧ 夫のいふやうに...  
 ⑨ 夫のいふやうに...  
 ⑩ 夫のいふやうに...

① 夫のいふやうに...  
 ② 夫のいふやうに...  
 ③ 夫のいふやうに...  
 ④ 夫のいふやうに...  
 ⑤ 夫のいふやうに...  
 ⑥ 夫のいふやうに...  
 ⑦ 夫のいふやうに...  
 ⑧ 夫のいふやうに...  
 ⑨ 夫のいふやうに...  
 ⑩ 夫のいふやうに...







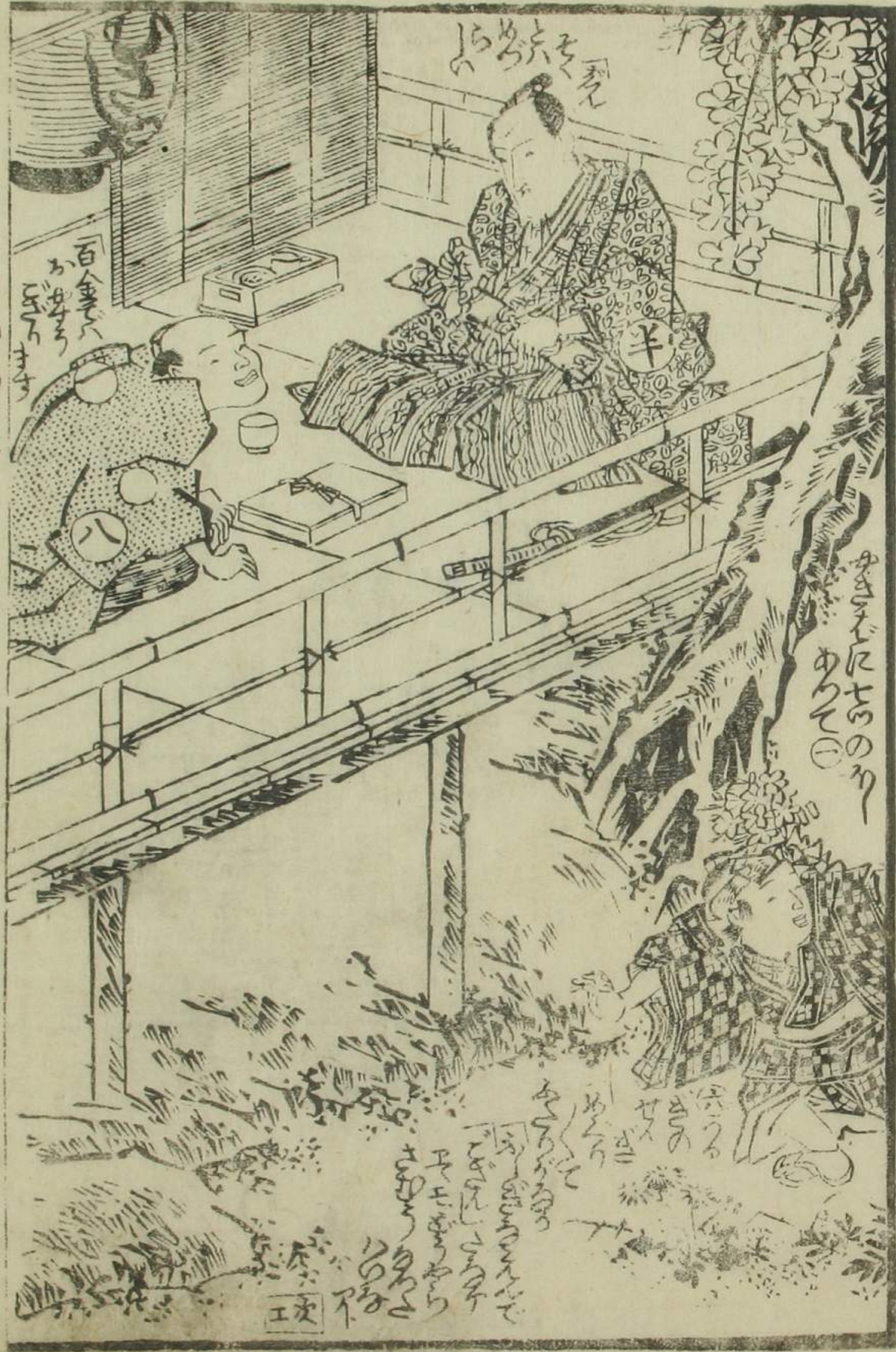




三のまね  
 ① 入るちのりから...  
 ② せん...  
 ③ せん...  
 ④ せん...  
 ⑤ せん...

三のまね  
 ① せん...  
 ② せん...  
 ③ せん...  
 ④ せん...  
 ⑤ せん...







① 馬の毛  
② 馬の尻  
③ 馬の尾  
④ 馬の鬃  
⑤ 馬の鞍  
⑥ 馬の轡  
⑦ 馬の脚  
⑧ 馬の蹄  
⑨ 馬の口  
⑩ 馬の鼻

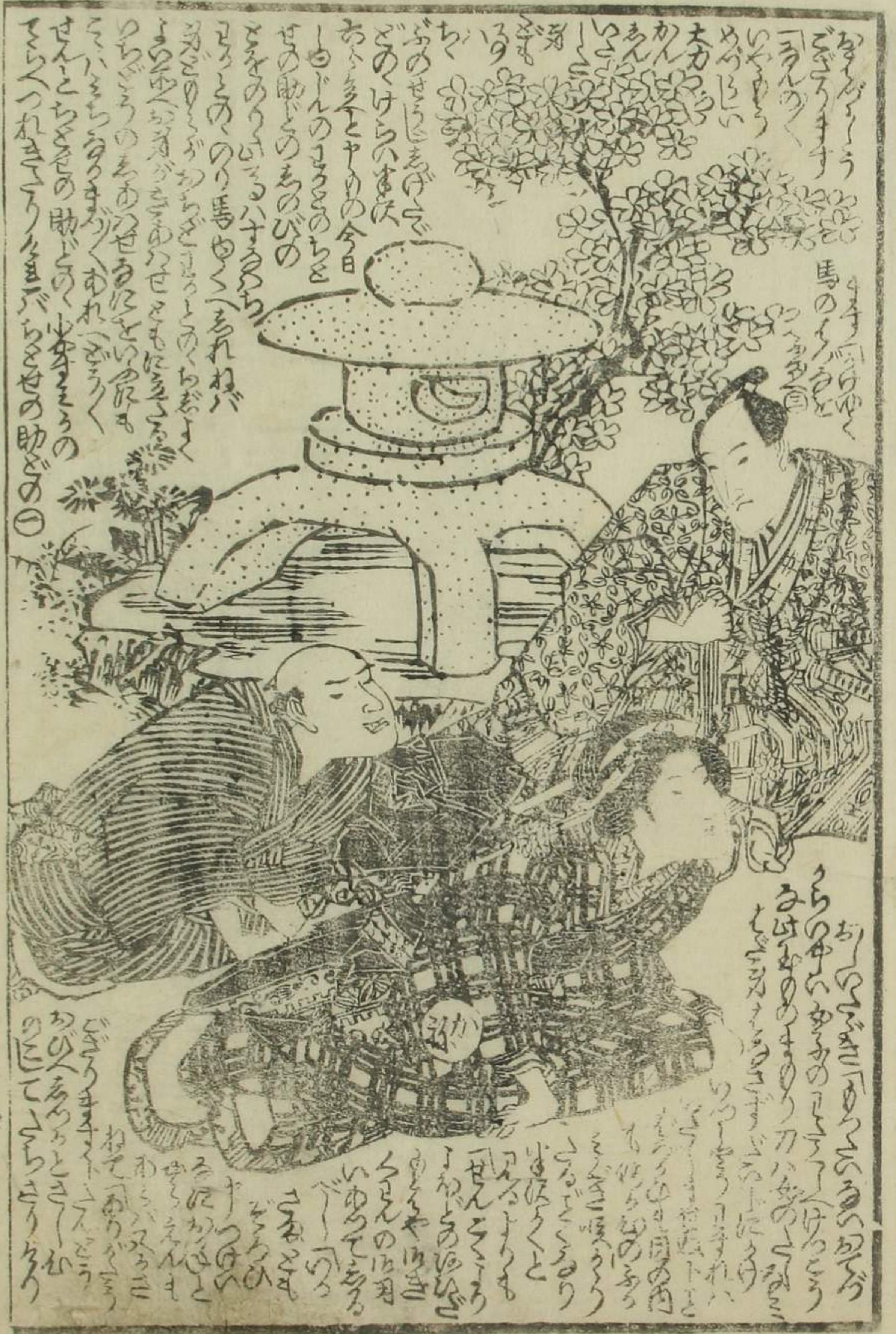


① 女の髪  
② 女の顔  
③ 女の服  
④ 女の帯  
⑤ 女の履  
⑥ 女の足  
⑦ 女の口  
⑧ 女の鼻  
⑨ 女の目  
⑩ 女の眉

① 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ  
 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ



② 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ  
 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ



③ 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ  
 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ

④ 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ  
 女は女の力を  
 ひき出し、つれづれ





山東京山作  
歌川國貞画



さあさあ  
おれは  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ

おれは  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ  
うらやま  
ちかぢかぢ



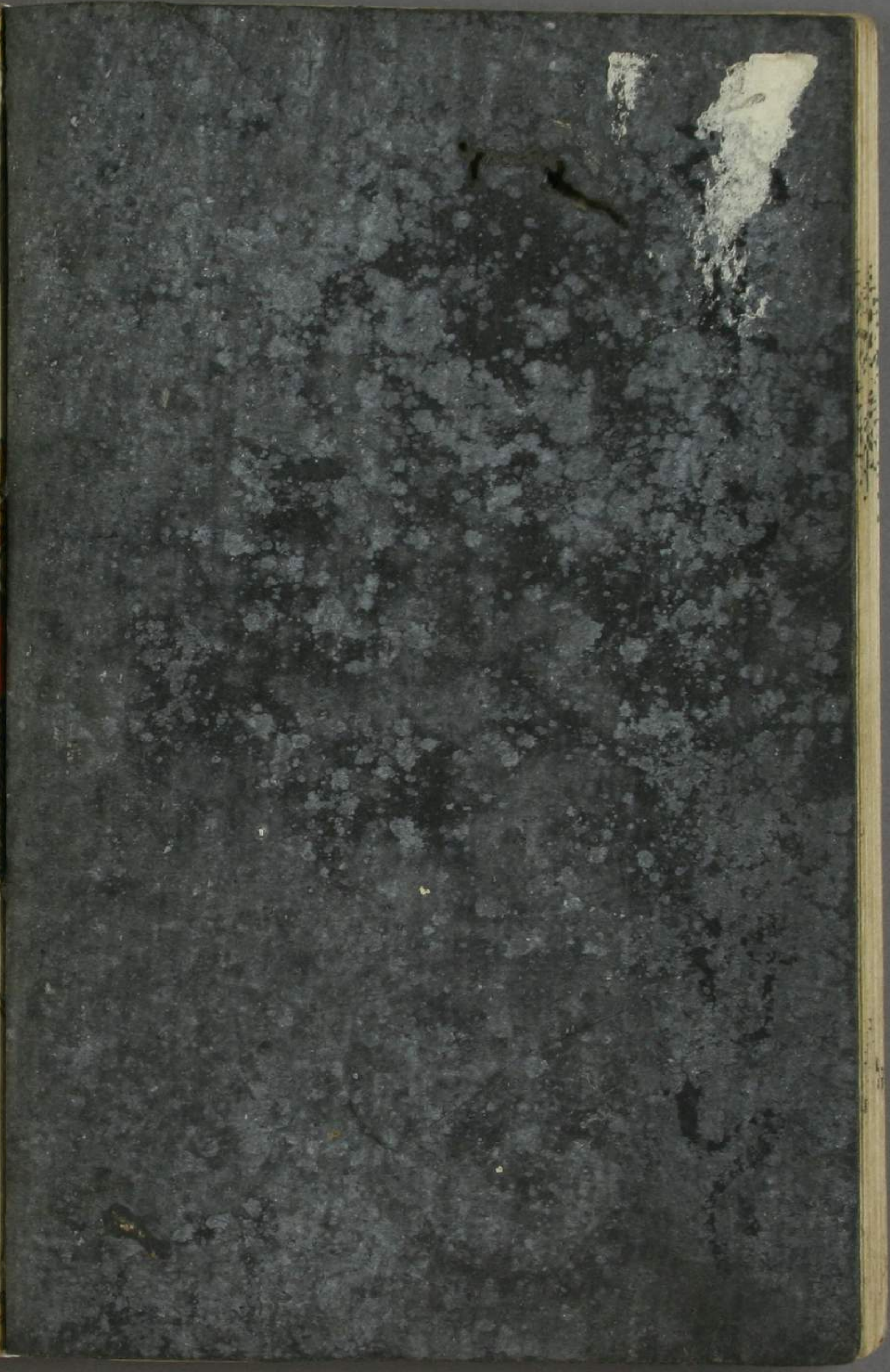


鬼

子

江戸町川岸角  
板主山本平吉

後

















いさよのうた



おまはれなると  
おまがなると  
なまぎまる

◎今宵のせしやう  
おれがゆきめいし  
おれがゆきめいし  
おれがゆきめいし  
おれがゆきめいし

つぎせんちんちん  
つぎせんちんちん  
つぎせんちんちん  
つぎせんちんちん  
つぎせんちんちん

◎おまはれなると  
おまがなると  
なまぎまる  
おまはれなると  
おまがなると



ゆきめいし  
ゆきめいし  
ゆきめいし  
ゆきめいし  
ゆきめいし

おまはれなると

おまはれなると  
おまがなると  
なまぎまる  
おまはれなると  
おまがなると





① 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。  
 其の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。

② 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。

③ 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。



④ 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。

⑤ 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。

⑥ 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。

⑦ 此の物語は、  
 昔の事であるが、  
 今もその名残を  
 見ることが出来る。





茶室の図は、茶の儀の作法を示す。右の隅に茶櫃（ちやくん）があり、茶葉を貯る。中央には茶釜（ちやくま）が煮立、茶碗（ちやくわん）と茶匙（ちやくし）が並ぶ。左の隅には茶托（ちやくたく）があり、茶碗を置く。茶室の床は畳（たたみ）で敷かれ、障子（しょうじ）が掛けられている。

茶の儀の作法は、茶櫃から茶葉を取り出し、茶釜に湯を入れ、茶葉を入れて煮立て、茶碗に注ぎ、茶匙で飲む。茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。



茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

茶室の作法は、茶櫃を右の隅に置き、茶釜を中央に置き、茶碗を左の隅に置き、茶匙を茶碗の右側に置き、茶室の床は畳で敷かれ、障子が掛けられている。

Handwritten text in German, arranged in vertical columns. The text appears to be a detailed account or a list of items, possibly related to the illustration below. The script is a cursive German hand.



Additional handwritten text in German, located below the illustration on the right page.

Handwritten text in German, arranged in vertical columns. The text is dense and appears to be a detailed account or a list of items, possibly related to the illustration below. The script is a cursive German hand.



Additional handwritten text in German, located below the illustration on the left page.

Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of items related to the illustration. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, likely a commentary or a list of items related to the illustration. The text is written in a cursive style.







山東庵京山作  
五渡真國貞画

江戸多々々 東條のや  
○讀書丸一包一かみ  
身一まんとていふと  
中らひ移ちていふ  
目とめさうらばす  
大人少兒ともいふ  
用とぬらり  
○手  
可らひ  
白牡丹  
二百五十年見  
まきとていふ  
まきとていふ  
一冊のふ  
まきとていふ  
まきとていふ



○十三味  
本  
才一  
○印  
一  
○新  
○京  
○江  
○藍  
○留  
○吉  
○米

板  
元  
久  
山  
本  
筆  
著  
藍  
庭  
晋  
米

